

The 8th Decorated Terra-cotta Concours

《屋根・庭のオブジェ》 第8回 飾り瓦コンクール

課題 高さ・幅・奥行の合計150cm以内とした、屋根・庭園・室内などに設置可能な「飾り瓦」とします。
 ※ 作品展および焼成などの都合により、**サイズは厳格にお守り下さい**。
 ※ 対になるような組作品は、**2個まで**とします。
 ※ 焼き物作品以外(木の台・造花・電球など)は、提出しないで下さい。

応募資格 瓦製造業者・一般社会人・学生(美術・陶芸・彫塑などの専攻)

応募登録 作品の提出、応募用紙と**写真の提出**、登録料の納付をもって、正式応募者として登録します。
 登録料 …… 1作品 2,000円
 振込みの場合は、下記宛にお願いいたします。
 岡崎信用金庫 高浜支店 普通預金 3163880
カザ ガワラ 飾り瓦コンクール実行委員会会計 モミヤマトモヒサ 横山 朋久

材料代 作品制作用粘土を希望の方は、約15kgをお送りしますが、材料代・送料として3,000円を申し受けますので、希望者は事務局までお申し出下さい。

応募用紙 応募用紙は、案内パンフレットに印刷されている用紙を切り取ってご使用下さい。**併せて写真を添えてご提出下さい**。

作品提出 ① 作品提出の受付は、平成25年11月8日(金)～平成26年1月10日(金)までの間(土・日・祝日を除く)、「飾り瓦コンクール事務局」で受け付けいたします(郵送などの場合は、期限消印有効)。
 ② 作品の提出は、応募用紙に必要事項を記入の上、登録料を添え、「飾り瓦コンクール事務局」まで、作品を焼成した状態で提出して下さい。なお、応募者本人で作品焼成できない場合は、「飾り瓦コンクール事務局」で焼成を代行いたしますので、応募用紙にその旨、記入して下さい。焼成を依頼される場合は、作品(粘土)が十分に乾燥した状態で提出して下さい。
 ③ 焼成依頼のあった作品の焼成・管理には細心の注意をいたしますが、不可抗力による作品の損傷などについては、責任を負いかねますので、予めご了承下さい。宅配便などで作品を送付されますと、破損の可能性がありますので、できる限り応募者本人が直接ご持参下さい。遠隔地でやむを得ず送付される方は、**梱包には充分注意して下さい。特に焼成前の作品は、木箱での梱包や緩衝材などの使用をお奨めいたします**。
 ※ 作品提出時および返却時の送料は応募者にてご負担下さい。

作品引取 平成26年2月25日(火)以降となります。

焼成方法 事務局で作品焼成を希望される方は、焼成方法の選択ができますので、希望方法を応募用紙に明記して下さい。
 ① いぶし —— いぶし銀色になります。
 ② 素焼き —— 粘土を焼成しただけの赤っぽい色になります。
 ③ 釉薬 —— 色は黒色、茶色になりますので、希望の色を選択して下さい。
 なお、作品は乾燥段階・焼成段階で合わせて約10%収縮しますので、ご承知おき下さい。

応募方法について

作品審査 作品審査は、平成26年1月25日(予定)に実施いたします。

審査委員 名古屋芸術大学美術学部学部長…………… 神戸峰男
 名古屋造形大学特任教授…………… 坪井勝人
 愛知県立芸術大学美術学部教授…………… 大塚道男
 陶芸家…………… 神谷英介
 陶芸家…………… 森 克徳
 碧南市藤井達吉現代美術館館長…………… 木本文平
 高浜市やきものの里かわら美術館館長…………… 井口喜晴
 鬼師…………… 梶川亮治
 鬼師…………… 加藤元彦

賞 大賞(グランプリ)…………… 1点 —— 賞状・賞金20万円
 優秀賞(屋根部門)…………… 1点 —— 賞状・賞金10万円
 優秀賞(オブジェ・エクステリア部門)… 1点 —— 賞状・賞金10万円
 市長賞(碧南市・高浜市)…………… 2点 —— 賞状・賞金 5万円
 特別賞…………… 数点 —— 賞状・賞金 1万円

作品展示 作品展示は、平成26年2月19日(水)～23日(日)の間、碧南市藤井達吉現代美術館で開催します。
 447-0847 愛知県碧南市音羽町一丁目1番地
 tel: 0566-48-6602 fax: 0566-48-6603

表彰式 表彰式は、平成26年2月19日(水)午前10時より、碧南市藤井達吉現代美術館で開催しますので、入賞者をご出席願います。

お問合せ 飾り瓦コンクール事務局
 444-1323 愛知県高浜市田戸町一丁目1番地1
 愛知県陶器瓦工業組合内
 tel: 0566-52-1200 fax: 0566-52-1203
 ※ 天災などの諸般の事情により、やむを得ず開催を中止する場合がありますので、ご承知おき下さい。



飾り瓦制作上の諸注意

- 準備** ① 粘土
 ● 制作する作品の大きさに応じた粘土量があるかどうかを確認する。
 目安: 50×50×50 cmならば——15kg 程度
- 作品の大きさは上記寸法で制作しても、焼成後10%程度小さくなることを予めご承知おき下さい。
- ② 制作用下板
 ● 制作する作品よりひと廻り大きめの板を用意し、以後の作業は焼成まで、この板の上で進めていただくと便利です。
- ③ 道具
 ● 木べら・金べら・かきやぶり(なければフォークでも可)
- 粗作り** ● 作品の外形を作ります。粘土は塊のままでは乾燥時、焼成時に割れる可能性が大きくなります。これを防ぐためには、中空構造とし、肉厚をできるだけ均一に仕上げてください。肝要です。
 目安: 20～25mmが適当です。
- 密閉構造では焼成時に破裂してしまう恐れがありますので、作品の下端・裏面などに直径30～50mm程度の空気穴を複数開けておくとういでしょう。
- 土と土の部品を接合する場合には、かきやぶり(フォークでも可)で双方の接合面を格子状に刻み、刷毛などで水を付けて密着させて下さい。焼成時に破損する恐れがありますのでご注意下さい。
- 一次乾燥** ● 「粗作り」が終了したら、3日～1週間程度、一次乾燥させます。乾燥に関しては、作品に直接風が当たらないように注意する(切れやすくなるのを防止する)とともに、直射日光を避け、「日陰干し」をして下さい。
- 仕上げ** ● 一次乾燥が終了したら仕上げにかかります。道具を利用して、作品を上げていきます。
- 二次乾燥** ● 作品が完成したら、焼成前に2～3週間自然乾燥させます。乾燥の注意事項は、一次乾燥の時と同様です。
- その他** ● 三河土で自ら焼成する場合は、1100℃前後で焼成して下さい。



きりとり線